

平成 30 年度 市民と市長の地域懇談会 新庁舎建設事業へのご意見等 抜粋

①麻町児童会館（9月20日 27名参加）

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○業務継続計画（BCP）こんな用語が理解できるのか。パブリックコメントなども含めて、もっとわかり易い内容にしてほしい。</p> <p>○本当に58億円が最高限度なのか。</p> <p>○検討委員会は21人だが、できるだけ若い人に考えてもらいたい。</p> <p>○基本構想では市庁舎に文化会館やいろんな機能をつけているが、市役所本庁だけは災害対応として必要なので、市役所本庁を優先して建設してほしい。文化会館は後回しにできないか。</p>	<p>○わかりやすい言葉で書くようにしていきたいと思います。</p> <p>○市庁舎建設に向けていろんな方々の話を聞いて、庁舎をどのようにつくっていけば市民のみなさんに満足していただけるのか、そのことで汗を流していきたいと思っています。</p>

②朝日会館（9月21日 29名参加）

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○新庁舎を建てる位置は現在の場所と同じだが、防災機能を持った災害に強い庁舎ということであれば、最近の災害は水害も地震も想定外ということが考えられるが、現在の場所で水害が起きた場合は支障がないのか。</p> <p>○浸水50cmを想定したとしても、実際の水害で想定外だったとならない計画を作ってもらいたい</p> <p>○文化会館の機能のうち大会議室の利用率は高いと思うが、そのまま新庁舎で計画をされているのか。調理室も併設する考えなのか。市民が利用しやすいようにしてほしい。</p>	<p>○空知川が100年に1度の洪水があった場合を想定したハザードマップを作成し、市民のみなさんにお知らせしています。その中では、現在の庁舎の位置は50cmの浸水があると想定しています。そのことを加味しながら現在の庁舎の建て替えの際に高さを調整していく必要があると考えています。</p> <p>○文化会館の稼働状況は、大会議室が52%、中会議室が一番高く70%となっています。会議室は現状を維持した規模を考えていますが、庁舎にも会議室があるため共用利用を検討していきたいと考えています。</p> <p>○調理室は、隣の保健センターにも同じような調理室があるため、必要かどうかを今後検討していきたいと思います。</p>

③北の峰コミュニティセンター（9月28日 28名参加）

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○建設費58億円で30年間の返済を想定してるとのことだが、他の施設の修繕費も必要になってくるが、その財源がなくなるのではないか。</p>	<p>○耐震改修工事の費用は、概算で20～30億円と試算しています。現在、基本計画と基本設計を委託する業者が決まりましたので、改めて耐震</p>

<p>人口減少社会のなかで、市の人口も急に減少していく。また、高齢社会による医療費や福祉費の増大も見込まれる。支出は増えるが、収入は減っていく。そのなかで、今後 30 年間も返済ができるのか。収支の見込みは出していないのか。</p> <p>○耐震改修をすると工事費はいくらかかるのか。市庁舎を新築する費用と既存建物を改修する費用の比較はしているのか。</p> <p>○人が集まるような政策をうち出していないと、どんどん人口減少がすすんでいく。移住者のなかには、子育て支援などの政策を比較して移住先の市町村を決める人もいる。新庁舎の借金により、財源が確保できず、近隣の他市町村に比べて政策が不十分だと、住むのに選ばれないまちになる。</p> <p>○30 年間の収支見込みを教えて欲しい。</p> <p>○今回の国策に乗っていかなければ庁舎建設ができないのは理解できる。58 億円の借財を 30 年間で返済するシミュレーションを出し、多くの市民の意見を早く聞く必要がある。借金に対して市民は敏感になる。建築費は東日本大震災以降高くなり、来年は消費税もあがる。借財や工事費に関して具体的な金額を示す資料を出してほしい。</p> <p>○コンシェルジュのなかに商工観光課が移ったが、本当にあの位置で良かったのか。市職員の横の連携がとれているのかと思う。新市庁舎建設で検討してほしい。</p> <p>○検討委員会は非常に重要な委員会だと思う。どういう人がいて、どんなことが検討されているのか、市ホームページだけでなく市広報などにも掲載して情報公開してほしい。職員ワーキンググループや市民ワークショップの検討内容も情報公開してほしい。</p> <p>○上川管内にある他市の庁舎建替えでは、人口減少を見込んで庁舎の規模を極力小さくしている。庁舎外の部課は、将来的に職員数が減ってきたときに集約するとしている。また、市民アンケートを実施して、一部改修か全部改築のど</p>	<p>改修工事にかかる費用の積算をしているところ。結果については、検討委員会で協議し市のホームページなどでお知らせします。</p> <p>○耐震改修をした場合は建物の免震にはなりませんので、20 年程度しかもたないといわれています。また、現在の庁舎は、地下に電気設備があり、1 階には市役所のサーバー機が設置されているため、洪水の場合には被害を受けられると思います。</p> <p>○検討委員会の公募委員の選考は、年齢や性別、志望動機等の項目で点数をつけ選考しました。全体の構成として女性の参加が少ないため女性の推薦を依頼した団体もあります。</p> <p>○借財をどうするのか。現在の財源でできるのか。という説明資料が不足していると思っています。今後、情報を提供していきながら、市民のみなさんにわかりやすい説明をしていきたいと思っています。</p> <p>○検討委員会や市民ワークショップの取り組みは、市広報に限らず情報提供の方法を検討していきます。</p> <p>○職員ワーキンググループは 8 月に組織し、耐震と水害の両方について防災セキュリティ部会で検討することとしています。耐震性能については、免震か耐震かも検討していきます。</p> <p>○職員のための庁舎ということよりも、一番には、まちの魅力づくりにも大きく関わってきます。まちづくりといえば、市民と一緒に行動する。市民のみなさんが責任をもって対応をいただき、行政が市民と一体となってまちづくりに努めていきたい。その拠点となるのが庁舎ということなので、市民にとっても魅力のある庁舎でなければならないと思っています。現在は、概算で積み上げたものしか説明できませんが、今後、検討委員会や市民ワークショップ等の各部会で検討したことを積み上げながら、報告の機会を持ちたいと思います。最終的に、市民のみなさんに意見をいただいて、こういう庁舎になりそうですといえる段階で、また、みなさんにご判断をいただきたいと思います。今回の地域懇談会では、58 億円について関心を持っていた</p>
---	---

<p>ちらが良いか、市役所の窓口で何が一番不便かを聞いている。市民は市役所にほとんど行かない。市民が何を望んでいるのかを把握して欲しい。</p> <p>○現在の位置は、市庁舎、文化会館、末広コミセンなど、1m～2mの浸水が想定されている。耐震だけではなく、水害に関して検討する必要があるが、職員ワーキンググループの防災セキュリティ部会は、何回くらい開催しどんな議論がされているのか。</p> <p>○文化会館は市町村役場機能緊急保全事業に該当するのか。文化会館を合築した場合、どのくらい経費節減になるのか。</p> <p>○市の税収が23億円のうち、人件費は20億円以上になっている。自主財源は、ほとんどないのが現状ではないか。JRの関係の費用負担に加え、市庁舎の借財の支払いができるのか。</p> <p>○過去に千葉県で震度6を経験し被災したことがある。当時、東京都周辺でも建築後40年を過ぎた建物を耐震改修していたが、震度6の地震で壁に亀裂が入ったため、現在は建替えを検討している。建築後50年になる建物は、耐震改修ではなく建替えた方が良い。</p> <p>○市役所を一番多く使うのは、市長と市職員。職員が一番働きやすいように設計するのが一番ではないか。市民が市役所に入ったときに、職員が一生懸命働いていると感じられる窓口業務になれば良い。元気のある会社は、社員がいきいきと働いている。社長は社員のために良いオフィスをつくる。市長は職員がいきいきと働ける場所をつくる。職員のために新しい庁舎をつくる。という理念をもって取り組んで欲しい。</p> <p>○市民が不安に思うのは、内容がわからないまま事業が走り出すということではないか。市民の意見をどうやって拾い上げるのか。機会をみて再度説明会をすることも、その間に何を検討しているのか。疑問をもたれないようにして欲しい。</p> <p>○検討委員会の公募市民は3人。選ばれなかった</p>	<p>いただきましたが、それがすべてではありません。まちの魅力づくりという意味では、若い方々にもまちづくりに参加していただけるような取り組みもしていかなければならないと考えています。また、人口減少の問題では、2万人を切ると市の経済にも大きな影響がでできます。若い方に富良野に住んでいただける環境づくり、人口が2万人を切らないように、できれば人口が増えるように、いろんな施策を打っていきたいと思っています。</p> <p>○文化会館は、市町村役場緊急保全事業に該当しませんので、集約化複合化事業で考えています。</p> <p>○検討委員会の委員は、連合町内会、観光協会、市PTA連合会、商工会議所、社会福祉協議会、文化協会、老人クラブ協議会の7団体から7人の委員を選出しています。公募委員は3人、市議会議員委員は4人、学識経験者として東海大学の教授、市職員6人、あわせて21人となっています。</p> <p>○職員ワーキンググループは8月からスタートしています。4つの部会があり、各部会1～2回の開催状況で、市庁舎に備える機能の検討をすすめています。職員ワーキンググループの検討結果は、検討委員会で協議をすることになりますので、そのときに市ホームページ等でお知らせします</p> <p>○検討委員会の学生ワークショップは、将来まちづくりを担う高校生や中学生を対象に、時間的余裕があれば、ある程度の計画案ができた段階で、意見を聞く機会をつくりたいと考えています。</p> <p>○現在の市庁舎は土盛りがされていて、地面から少し高い位置に建っていますが、設計業者からは、さらに高くする必要があるといわれています。最悪の場合は、1階全部が浸水しても2階以上で行政機能を発揮できるようなつくりをしたいと思っています。</p> <p>○新庁舎の避難所指定は、基本構想では、文化会館の機能を併設することで多目的スペースをつくり、そこを一時避難場所や選挙の投開票にも使えるようにしたいと考えています。</p>
--	--

<p>者もいれば、人がいないからと声をかけられた者がいると聞く。市民の意見をどのように拾い上げるのか。市議会推薦が4人。議会や市民の代表として、地域の代表として、どのようなかたちで市民の意見を聞くのか。そういうことを市民に見えるかたちにして欲しい。</p> <p>○検討委員会の構成になかの学生ワークショップはどのような位置づけか。</p> <p>○富良野小学校の周辺は、洪水のときに1m浸水するとハザードマップの記載されている。現在の市役所は2mくらいの浸水になると思うが、新庁舎の1階部分は地上から3mくらいの高さになるのか。バリアフリーを考えたとき、長いスロープを上っていくのか。洪水のとき、富良野小学校は避難場所になっていない。周辺住民のためにも、新庁舎を避難場所にしてほしい。</p> <p>○庁舎の老朽化や耐震性不足を考えれば、職員の生命を守るためにも建替えは賛成である。文化会館と市庁舎を一体で建てるとのことだが、現在の庁舎の前庭は残して欲しい。前庭を残したまま、現在の位置に建て直すと、仮設庁舎も必要になることも想定してもらいたい。</p> <p>○議場が使われるのは年間30日から90日間くらい。残りの300日は使われないため、市民が有効利用できるように検討して欲しい。</p>	<p>○富良野小学校周辺の避難所についてですが、洪水のときは垂直避難ということで自宅の2階に避難するという考えが広まっています。避難所の設置については、全市的な見直しをしたいと思っています。</p>
--	---

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見等
40-49歳	女性	新庁舎の関係で、市民ワークショップの部会に「子育て世代のグループ」を設置して欲しい。未来の大人が富良野を支えていくので、子どもを育てやすく、育ちやすい富良野市をつくって欲しい。
70歳以上	男性	他市の市庁舎建設では、市庁舎建設の課題を地域説明していると聞く。富良野市も情報開示をして欲しい。

**④末広コミュニティセンター（10月2日 40名参加）**

ご意見等	市の回答・対応方針
○庁舎が老朽化していることは知っていたが、新聞で建設することを知り、はじめは唐突に感じたが、今回の説明でこれまでに内部で十分検討し、そのためにお金も積んできたことや、国の支援もあるということで十分納得できる。この	

<p>まま前に進めてほしい。市議会議員の中には、反対ではないと言いながら、逆にあおっている感じがする。市議会議員も市民の代表として議会で決まったことは、やる方向で進めてほしい。</p> <p>○市庁舎建設は大きな事業なので、小さい経費が大きな経費になる。市職員のみなさんも経費の節減ということで残業時間の抑制などにも取り組んで欲しい。</p> <p>○償還金 60 億円を 30 年間で返すということだが、工事費 58 億円がどのように算出されたのか。30 年後の人口は何人になっているのか。それが妥当な金額なのか教えて欲しい。</p> <p>○市民の借金なので効率的で効果的な経費削減に努めた建設計画でつくってもらいたい。建替えには賛成。</p> <p>○市庁舎が建ったあとに、その他の施設の利用を考えていくということか。生涯学習センターにある博物館の展示施設はどうなるのか。</p> <p>○いつ大きな地震がくるのかわからない。現在の庁舎で危険を感じながらでは職員は良い仕事ができないので進めて欲しい。</p>	<p>○市庁舎の規模は、現在の市庁舎と文化会館を合わせた面積を想定し 9,800 m<sup>2</sup>としています。他市町村で建設している市庁舎の 1 m<sup>2</sup>あたりの平均単価 59 万円を乗じて算出したのが 58 億円です。現在、市民検討委員会や市民のみなさんの意見を聞きながら規模を検討し、将来的な人口減少を想定しながら基本計画をつくり、基本設計のなかで本当の庁舎の規模を確定しながら、およその金額を明らかにし、改めて周知をしていきたいと思っています。</p> <p>○その他の施設の将来的な方向性については、市庁舎と同時進行で進めるのではなく、市庁舎ができた後に、各施設で生じた空きスペースをみて、利活用方法を検討させていただきます。例えば、図書館の 3 階にある学校教育課や子ども未来課、保健センターの 2 階にある高齢者福祉課や福祉課が市役所に移転した場合、それらの施設の空きスペースをみてから利活用の方法を検討します。</p>
---	---

**⑤東春コミュニティセンター（10月3日 29名参加）**

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○空知川と富良野川の合流地点で富良野川が逆流して洪水になることも考えられる。その場合、文化会館に浸水予想水位の表示があるが、駐車場が浸水した場合は公用車が使えなくなる。洪水になったときに災害対応できるのか。道路が冠水した場合、車両が通行できなくなるが、道路もすべて高くするのか。</p> <p>○基本構想の 1 番目に「防災拠点機能を発揮できる災害に強い庁舎」とあるが、現在の位置を選定する理由では、「市民に親しまれている場所」となっている。災害に強い場所ということがどこにも触れられていない。今後、市民の合意形成をしていくのであれば、その部分をできるだけ早くみなさんに示していただきたい。いろん</p>	<p>○現在、全市的な避難所の見直しを検討していますが、できるだけ近くに逃げていただくことを考えています。文化会館は 2 階への避難もできます。垂直避難も含めて避難所の見直しを行います。出来しだいみなさんにお知らせしたいと思います。100 年に一度の洪水が発生した場合、文化会館の周辺は 50cm から 60cm 浸水すると想定されます。新庁舎を現在位置の場所に建てる場合は、今よりも少し高くさせていただきたいと思っています。予定では、既存よりも 1 m から 1 m50cm 程度高くすることも考えています。具体的には、今後の設計のなかで検討していきますが、防災対応ができるように基本計画や基本設計で考えたいと思います。</p>

<p>な要素があって現在位置になるのはわかるが、整理しておかないと今後苦労するのではないか。</p> <p>○庁舎の年数、不便さを考えると数年以内には必ず改築が必要だと納得している。しかし、子供たちのこと、学校の耐震化を優先するべきではないかという声も聞く。学校の耐震化は全部終わっているのか。</p> <p>○市町村役場機能緊急保全事業は、現時点で手を挙げれば採択される事業か。仮に採択されない場合は、すべてを自主財源で行う考えか。</p> <p>○人口が減っていくなかで、58 億を借金して富良野の将来は大丈夫なのか。</p>	<p>○市内 15 校のうち 13 校は耐震化が完了していますが、2 校はまだ耐震化を行っていません。未完了の 2 校は山部中学校と樹海中学校で、山部中学校は閉校が決まっています。樹海中学校は、現在いろいろな面で協議をしているところです。</p> <p>○学校については文科省が早くから耐震化に取り組んできました。現在、耐震化のできていない 2 校については、いろんなことがあって進んでいませんでした。そのうち、山部中学校は統廃合されますが、樹海中学校についてもそのような動きがあります。</p> <p>○市町村役場緊急保全事業は上川総合振興局と協議をしているなかでは、手を挙げると対応できるといわれています。現在、さらに有利な事業や他の補助事業の検討も進めています。</p> <p>○富良野市では毎年度、約百億円の予算規模で事業を実施しています。その中には国からの借金をして事業実施しているものもあります。今後の財政シミュレーションでは、健全な財政を維持できると判断しています。改めていろいろな試算がでてきたときにはみなさんにお知らせしたいと思います。</p>
---	---

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見等
60-69 歳	男性	新庁舎の耐用年数はどのくらいですか。

**⑥西地区コミュニティセンター（10月9日 56名参加）**

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○検討委員会の体制のなかで検討一体型という説明があり、市議会議員が入っているが、議会が庁舎のなかに入っているので一体で検討をしているのか、期間が短いからか。今後、この主の事業には市議会議員が入るのか。議会と市長は二元代表制であり、市長のやることに対して、チェックするのが議会の役割。賛成権も拒否権もある議員が、中に入って一緒にやるのは行政がゆがめられる懸念があるのではないか。</p>	<p>○議会は庁舎の利用者という立場もありますが、検討する期間が短いということで市議会と相談しました。二元代表制ということは承知のうえで、議会にも了解をいただきながら、今回は一体型の方が良いということで検討委員会の中に市議会議員のみなさんに入らせていただいています。基本的には、二元代表制ということがありますので、今回のように一緒になって検討することは特別なケースだと思っています。</p>
<p>○返済期間が 30 年で、年間どのくらい返済するのか。これから高齢化によって人口が減っても市民に負担はかからないのか。</p>	<p>○年間 2 億 3 千万の返済額のうち、国からお金が入ってきますので、実質 1 億 7 千万が毎年の返済額となります。</p> <p>○庁舎がずっとこのままということにはなりません。</p>

<p>○検討委員会の一般公募は何人いるのか</p> <p>○庁舎の返済と鉄道の負担もある。両方を検討して市民にしわ寄せがいかないように考えているのか。</p> <p>○富良野市の今後の財政はどうなるのか、高齢者が増えて人口は減っていく。収入が減ってくるなかで支出は増えていく。そのなかで、毎年1億7千万円を負担する。今後、財源がどれだけ残って、どれだけ住民サービスに影響があるのかを明らかにしてほしい。</p> <p>○介護業界では、利用者はたくさんいるが、職員が足りない。将来、介護が必要な人を見切れな</p>	<p>ん。財源については、庁舎を新築することでランニングコストも減ってきますので、いろいろな面で減らしていきたいと思っています。また、文化会館と市庁舎を一緒にすることによって面積を小さくコンパクトにしていき、できる限り市民のみなさんの負担が大きくなるようにしていきたいと思っています。</p> <p>○検討委員会は、学識経験者、町内会連合会、観光協会、市PTA連合会、商工会議所、社会福祉協議会、文化協会、農協の7団体と、一般公募の3人。その他、市職員と市議会議員を含めて21人で組織しています。</p> <p>○鉄道と市庁舎の関係は、総務部が所管していますので、一緒になって検討しています。</p> <p>○多大な借金をして返済をしていくので市民のみなさんは不安になることが多分にあるということは承知しています。市の財源は使って減っていくだけではなく、今現在も、必要に応じて財源を確保していくことで財政が成り立っています。例えば、建設費58億円に対する1億7千万円の返済になっても、健全財政は維持できるという範囲に収まっています。1億7千万円の支払いがあると、ほかの仕事ができなくなると心配されていますが、そうならないように努めていきたいと思います。今までも、市が建物を建てる時には借り入れをし、返済をしてきました。長期的にみると、今後30年のなかで、衛生処理センターなどの返済が終わってくるものもありますので、順次借り入れができる状況にもなってきます。人口減少社会や人材育成、雇用の確保など、様々な手当てが必要になります。そうした財源や庁舎建設の返済に充てる財源など、長期に渡っての財政状況については、検討委員会のなかで庁舎のありようを検討していますので、それが定まったときに、財政規模や償還の金額、将来の財政見通し、取り組まなければならない事業と費用も含めて、市民のみなさんにご提案していきます。その中で、市庁舎の建設についてご判断していただきたいと思っています。</p> <p>○これから基本計画を立てていく段階で、もっとわかりやすい形で数字をお知らせしたいと思いま</p>
--	---

い状況が起きてくる。人材をたくさん集める方法にお金を使ってほしい。例えば、日本語学校をつくって外国人に来てもらって働いてもらうとか。市庁舎建設に使うとそういうことに使うお金がなくなる。実際に人口が増えている町もある。いろんな政策を打つことで人口を増やすことができる。市庁舎は最低限度の費用で建て、残った財源で子育て支援や移住者の支援など、富良野の人口が減らないよう、発展することをしてもらいたい。

○建築費は減るかもしれないが、増える可能性もあるのか。

○何年も前から義務教育の医療費無償化をお願いしているが、それには5千万円かかるのでできないという回答があった。遊び場をつくって欲しいという願いも何年もしてきたが、達成されないなかで58億円という新市庁舎ができた。私たち生活のなかで、すぐに取り組まなければならないことかどうかが疑問。人口減少の対策が今すぐ必要ではないか。生活のなかでもっと必要なことがある。子育てするなら富良野でというが、本当に子育て世代の声を聞いて実行していくのか。子育て支援をするのであれば、具体的にどういう政策を何年以内にするのか、それにいくらかかるのか。子育て世代だけでなく、高齢者のみなさんも含めて、市民のみんなが全員納得できて、安心できるような政策があったうえで新市庁舎建設ということを数値化するときに同時に出してもらいたい。子育て支援はいつできるかわからないまま、1億7千万の借金を市民に負担してくださいといわれると、30年後には人口がもっと少なくなり、将来、子ども達が負担するのも今より大変になる。親世代に納得する説明をしてもらいたい。

す。より優位な国からのお金がもらえるようなことを研究させていただいています。ある程度の目途も立っていますので、そのことも含めてシミュレーションし、来年の春先にはお知らせしたいと思います。

○検討委員会のなかで議論をし、そんなに大きくならない、そんな機能までいかない。ということになれば、どんどん変わっていきます。そういう形で圧縮をしていくということになります。

○庁舎建設と子育て支援は切り離して考えていただきたいと思います。借金をたくさんしたら子育て支援ができないのではないかと、という財政のありようはつくらないように努めていきますのでご理解をいただきたいと思います。

○子育ての関係ですが、対策として医療費が中心に議論がされていますが、医療費を義務教育まで無償化することについては、議会のなかでも議論をいただきました。それにかかる経費もありますが、もっと効率の良い子育て支援はないのかを考えています。その考えのなかでは、子育て世代の方々から、アンケートや市長トークなど、いろいろな形で意見を集約し、次の方法を考えていきたいと思っています。基本的な考えとしましては、子育ては医療費だけでなく、住宅環境、教育、保育など、トータルで子育て支援ということを考えていかなければならないと思っています。国は、幼稚園と保育所の無償化をする取り組みが始まっています。これは、人口減少対策の取り組みのひとつになっています。そうした国の方向性に準じて、自治体のありようも作っていくということが大切になってきます。人口問題を解決するのは、若い世代の方々が富良野に住んでいただく必要があります。人口流出では、これまでの取り組みのなかで若干の解消がみられますが、それで良いとは思っていません。この後も、みなさんの意見をききながら、効果的な方法を考えていきたいと思っています。

○産婦人科医や内科医にも残ってもらう取り組みも子育てに関係していますので、一緒に取り組んでいます。



(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見
40-49 歳	男性	新庁舎の建設は建設費 58 億年、30 年間で 1 億 7 千万の返済という話が最もインパクトのある質問で、誰もが心配しているが、市の答弁が明確でない。大部分の人は財政的に健全であれば納得する。前向きで簡潔な説明が必要。
40-49 歳	女性	新庁舎建替えは、未来の住民が負担にならないような計画を立てて、現在の住民が納得できるような形にして欲しい。
60-69 歳以上	男性	30 年間も借金を返済するのに、人口減少や税収減で耐えられるのか。P F I は考えていないのか。

⑦南コミュニティセンター (10月16日 51名参加)

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○庁舎の設計はできているのか。何階建てになるのかも決まっていなく面積も決まっていないのか。短期間で平成 32 年度までに取りまとめなければ前へ進めない。未来の子どもたちに残す財産として、急いでやるべき。</p> <p>○返済の問題は、30 年後に人口がどのくらいか、毎年 1 億返すとしても人口が 2 万人のときと 1 万人のときでは違ってくる。そのような試算はどの程度しているのか。</p> <p>○市の審議会は、ほとんど意見がでないで事務局案がとおることが多いが、検討委員会はどのくらい活発な意見がでているのか。例えば、委員の 3 分の 2 から半数の人が発言しているのか。</p> <p>○新庁舎は金山ダムが決壊した場合を想定し、屋上にヘリポートを作るとか自家発電機、燃料の備蓄をしてブラックアウトした場合でも 1 週間くらい持つような設備をつくってほしい。</p> <p>○30 年間で毎年 1 億 7 千万円を返済し、国の交付税が戻ってくるというがそれも国民の借金。国も債務超過になっているような状態のなかで 30 年間期待できるのか。金利は何パーセントで計算しているのか。30 年間ゼロ金利の状態が続くと想定しているのか。</p> <p>○防災機能を発揮できる災害に強い庁舎とあるが、防災機能とは具体的にどのようなことか。富良野市は地震よりも水害の方が危険性が高い。過去にも事例がある。国道から堤防側は水につかる可能性がある。深層断層が金山ダムにないともいいきれない。胆振東部地震の震源の深さは 37 km。他の場所の検討はされたのか。</p>	<p>○設計や階数はこれからです。今日は市の考え方を説明させていただきましたが、平成 32 年度までには建てたいと考えています。みなさんのご意見を聞きながらすすめていきたいと考えています。</p> <p>○今までは、ひとつひとつ意見交換をしながらやってきましたが、市民や関係団体、議員も含めて一体型で検討しています。市職員のワーキンググループも別に設置して意見を出し合っています。基本構想が出た段階で決まっているのかということですが、そうではありません。ユニバーサルデザインや防災機能などが必要だという主要部分だけは決まっていますので、検討委員会のなかで専門家も入って話し合いをしています。</p> <p>○年間 2 億 3 千万円を返済しますが、国から約 6 千万円戻ってきますので、差し引いた返済額は年間 1 億 7 千万円となります。人口減少を見据えています。市の借金返済額は毎年 10 億円程度ですが、今後減っていきます。それにあわせて市庁舎建設の返済をあわせていきます。建設の費用はまだ明確ではありません。はっきりとした段階で、改めて説明しますが、試算のなかでは健全財政は維持できると判断しています。</p> <p>○まだ会議は 1 回ですが、ほとんどの委員から意見をいただき、活発な意見交換をしています。市のホームページでも公開しています。職員のワーキングチームでは、事務局案よりも職員の見解を重視しています。市民ワークショップでも市民のみなさんから多くの意見をいただいています。基本構想はたたき台ということで、みなさんから意見を聞いているところです。</p>

<p>○市の方針としては集約化を図ろうとしているが、高齢化社会のなかでみんなが弥生町に行かなければならないのか。東山や麓郷に人達はどのようにするのか。集約化して一カ所に集めるよりも分散化してサテライト庁舎をつくったほうが利便性を高くできないか。これからの富良野市の年齢構成を考えると高齢者が増えていく。庁舎を分散化して情報ネットワークシステムを整備したほうが住民としては楽ではないか。麓郷や西達布からはバスが少なく不便。本庁に集約化すると、むしろ利便性が下がるのではないか。</p>	<p>○庁舎の基本構想の中では、防災機能を発揮できる災害に強い庁舎をつくるということを基本方針にしています。100年に1度の大雨では、市街地でも洪水になる可能性があります。現庁舎は、地下に電気設備があり、ガソリンの備蓄もわずかなので長時間持ちません。防災拠点機能を発揮できる庁舎にしたいという想いを込めています。ご意見を参考に検討を深めていきたいと思えます。</p> <p>○金利は1%です。</p> <p>○防災機能とは、災害対策の拠点とした機能、発電機の設置、遠くにある備蓄を収める、市民の一時的な避難場所などを包括的に考えています。</p> <p>○耐震の検討もしています。洪水に対する備えでは、100年に1度の大雨により約50cmの浸水が考えられますので、現状よりも少し高く上げるようにしたいと思っています。基本構想では、現在と同じくらいの市有地はほかにはありません。市街地の中心部に近いということや、今までの歴史も含めて現在地が最適だと判断しています。洪水のための対策は検討しています。</p> <p>○山部と東山には支所があります。今後の高齢社会を考えると、コンビニなどの情報ネットワークの活用のなかで住民票をとれないかは検討しています。今現在、市役所に来る人が、福祉の関係では保健センターに行く、学校に関しては図書館に行くなど、同じ屋根の下で納まっていないのが現状です。それをできるだけ同じ屋根の下にしたい考えです。</p>
---	---

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見
40-49歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築50年で庁舎建替するということは、建替後の新庁舎は何年使うつもりか。少なくとも100年くらい建替えないようなものを考えてほしい。借金が永遠に少なくならないのではないか。無駄を減らす努力をしてほしい。</li> <li>・新庁舎に求められる機能が多すぎる。多くを素人が求めると必ず失敗する。必要最小限の機能でコンパクトに計画するべき。</li> <li>・稼働率25%で平均利用人数が少ないのに600人規模は疑問。全く現実的ではない。演劇工房の施設を有効利用するくらいの発想がほしい。</li> <li>・新庁舎の建設費用はもっと減らすべき。人口減少のリスクヘッジをとってほしい。</li> </ul>

		・新庁舎を建てるにしても「稼げる庁舎」などのアイデアをだしてほしい。新庁舎は「子どもたちへの財産」ではなく、「負の財産」であることを念頭において進めるべき。
70 歳以上	男性	・新庁舎には屋上にヘリポートをつくってほしい ・金山ダムで事故が発生したときに高い位置に逃げる場所の確保してほしい ・ブラックアウト時には十分な容量の発電設備と燃料の備蓄をしてほしい
70 歳以上	男性	・今後、新庁舎建設が具体化する進行に合わせた話が聞きたい

⑧栄町コミュニティセンター（10月19日 30名参加）

ご意見等	市の回答・対応方針
○新庁舎は約 58 億となっているが、何年でいくら返すのか。	新庁舎は想定で 58 億円の事業費とすると、返済対象額は利息を含めて 60 億円になります。このうち 14 億円が国から措置されますので、実際の返済額は 46 億円になります。これを 30 年間で償還し、金利 1%と想定すると毎年の返済額は 1 億 7 千万円になります。

（アンケート自由記載）

年齢区分	性別	ご意見
50-59 歳	女性	・庁舎の説明はわかるが急務とは理解できない。 ・庁舎は建てるのが先にあつての説明としか思えない。 ・ゼネコンしか建てられないものを進めているのが富良野市民にとって良いこととは思えない。市税を使って、どれだけの市内企業に仕事があるのか。JVを組んでも少ないと考える。文化会館と一緒にものでなければならぬのか。市内企業で建てられるものではダメなのか。 ・交付金をもらっても 46 億の市税なら、交付金をもらわないで建てられる庁舎のみではダメなのか。
70 歳以上	男性	・新庁舎建設時、想定外の災害に対しブラックアウトなどに対処できる大型発電設備、ハード面とパソコンやソフト面での強化をしてほしい。

⑨瑞穂コミュニティセンター（10月22日 55名参加）

ご意見等	市の回答・対応方針
○新庁舎は現在の場所に新しく建つ計画だが、空知川の水害は検討委員会でどのように検討しているのか。 ○新庁舎は、今後の少子化や人口減少を見込んでコンパクトに設計するのは良いが、市の職員体制もコンパクト化するように検討してほしい。 ○今年の文化協会の総会で、文化会館の使用料が高くて使いづらいという意見がでていた。建物が新しくなって使用料が高くなると市民は使いづらくなるので考慮してほしい。 ○文化会館を建て直すのはありがたい。有識者が入っているのであれば楽器の演奏ができる設備を備えてもらいたい。	○基本構想は現在位置での建替えを想定していますが、理由は、駐車場を含めて広い敷地が必要になりますので、土地の取得のかかる経費が多額になるということ、50 年近く現在位置にあり、認知度の高さ、交通の便などがあります。100 年に一度の洪水が発生した場合、浸水は 50 センチと想定しています。このため、今よりも若干高くし、地下にある電気系統や臨時の外部電源も上の階に上げるなどを加味して検討します。 ○委員会のそれぞれの担当部会に伝えたいと思います。

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見
40-49 歳	男性	・新庁舎も同様に今判断すべき、すべての要素を考慮すると早期建て替えが望ましい。 ・ブラックアウト時は庁舎の機能が停止していたようだが、電源確保も重要。災害に強い庁舎づくり、にぎわいのある庁舎づくりをしてほしい。
70 歳以上	男性	・新庁舎は 2 階建てで良い。

⑩山部福祉センター (10 月 24 日 24 名参加)

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見
40-49 歳	男性	・新庁舎は、防災拠点機能を基本方針にするのであれば高い階に発電設備を設置し、発電設備の定格容量は大きいものにしてほしい。

⑪東山支所 (10 月 26 日 32 名参加)

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○新聞記事の中で、富良野市庁舎の建て替えに関する検討委員会の会議中、委員 4 人が退席したとあった。意見に大きな隔たりがあって、議論が紛糾して退席したのか。背景を教えてください。必要なものは必要なので、退席者が出て会議が紛糾しては大変と思い質問したが、そうではなくて安心した。</p> <p>○現庁舎の敷地内に新庁舎を建設しようとしているが、業務に支障はないのか。また、建設候補地は、ほかにはなかったのか。 基本設計までのスケジュールがタイトだが、建築設計事務所の設計が完成するまでか、それとも市としてのイメージが完成するまでか。</p> <p>○設計会社が基本設計を作る段階で、既に決まっていることに違和感がある。費用を抑えるためには設計会社をきちんと選定すべきであり、仮に基本計画の作成について委託をするとしてもコンペティションなどできちんと選定をすべきではないのか。</p>	<p>○検討委員会の会議時間が長くなり、他に用事があった方が退席したという状況です。会議が紛糾したということではありません。事務局の説明事項が多く、長かったという反省はありますので、今後改善していきたいと思います。</p> <p>○現庁舎の敷地は駐車スペースも十分に確保できる広大な敷地であることから、新たに土地を購入するのではなく、現在の敷地を活用することにしました。また、新庁舎を建設している間は、現庁舎の業務を遂行する予定です。業務に支障が出ないよう努めたいと思います。</p> <p>○基本設計は、市として間取りをどうするのかなどの大まかな考えを決めるものです。それをもとに、部材をどうするかなどの具体的な設計を決めていくのが実施設計となります。なお、基本計画と基本設計の作成については、北海道日建設計が引き受けてくれています。計画や設計の内容は、検討委員会での意見などを踏まえて作成するよう依頼しています。</p> <p>○懇談会の冒頭で説明したとおり、非常にタイトなスケジュールで、今年度中に基本計画と基本設計を同時に策定しなければ間に合いません。このため、基本計画の段階から設計会社が入る形をとっています。その設計会社は、プロポーザル形式により企画提案をしてもらい、選定しています。これは設計案を提案してもらったのではなく、設計者の考え方や実施方針などを提案してもらい選定しました。今後の実施設計な</p>

<p>○近年、災害が多い中、災害にきちんと対応できる充実した公共施設を建ててほしい。現段階で検討されている災害対策面での機能があれば教えてほしい。特に、災害時に情報発信ができるように電源設備はしっかりとしてほしい。</p>	<p>どの段階では、また別の事業手法等での選定を検討していきたいと思います。</p> <p>○職員ワーキンググループでも災害対策について検討しています。特に自家発電機能については、直近の地震の際にも市役所の電源が大会議室と総務課の部屋しか復旧できませんでした。このため、市のホームページが見られないなどの影響が出ました。発電機の燃料も 72 時間分は確保をしていかなければならないと考えています。現在の庁舎は、電気室が地下に設置されているため、洪水が発生した際には水没してしまいます。このため、市のサーバー機を含めて高層階に設置ができるように考えていきたいと思っています。新庁舎建設では、災害時の拠点となる施設になるよう検討を進めています。</p>
---	--

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見等
60-69 歳	男性	・市庁舎は早く建ててほしい

⑫布部会館 (10月29日 23名参加)

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○庁舎の建て替えはした方が良いが、この話は最近出てきたように感じる。平成 32 年までに決めるとなると切羽詰まっている。金額を考えるともう少し時間を掛けて議論をした方が良くと思う。人口 2 万人で考えると 1 人当たり約 30 万円の負担、家族 4 人で考えると 1 世帯 100 万円以上の負担を強いてまでつくる新庁舎の利便性って何かとを感じる。そもそも必要なのかを考えてほしい。</p> <p>○これから 30 年、40 年使うにあたって、今の場所で絶対に安全だという確証みたいなものはあるのか。</p> <p>○58 億円の経費をかけて建てるべきものか。検討委員会で議論することになっているが、中身がわからないと判断もできない。市の財政の将来的な見通しもないと検討することもできない。概略や予算などの情報を市民に広報などで周知・公表していくべきではないか。</p> <p>○富良野市の人口推移、税を納められる人は何人いるのか、労働力人口はどれくらいいるのかなどがわからないと維持していくことはできない。そうした状況を市は何年先まで把握してい</p>	<p>○色々な検討をしましたが、建設にはかなりの面積が必要であり、新たに土地を求めるより、現在地を活用し、災害に強い庁舎や建設費のものと掛からない庁舎など、みなさんにいろんな形でお知らせし、判断をいただきたいと考えています。</p> <p>○11 月の広報で周知していく予定です。市民に知っていただくために、いろいろな手段を講じていきたいと思っています。かわら版のようなものを作成して市役所などへ掲示することも考えています。周知方法は、懇談会などで多くの方から意見をいただいていますので、検討委員会で考えていきたいと思っています。</p> <p>○人口予測は社人研で作成しているが、市では平成 62 年までには償還が終わると考えています。その時の人口は 15,000 人から 16,000 人と想定し、実質公債比率が現在の 7.6%が、平成 62 年は 11.1%になり、健全財政は維持できると判断しています。</p>

<p>るのか。それがないと市民も検討できないのではないか。</p> <p>○庁舎の建て替えは、いずれ必要である。将来の市民負担を考えても今やるべきである。</p> <p>○庁舎の建て替えは、お金がないのであれば、補助金でやった方がよい。庁舎も文化会館も年数が経っているので同時に進めた方がよい。</p>	
---	--

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見等
40-49歳	男性	新庁舎建設後30年の償還の間に、市町村合併は考えられないのか。

⑬麓郷集落センター（10月30日 34名参加）

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○新庁舎建設で市民生活に影響はないのか</p> <p>○現庁舎が出来た昭和44年当時の人口は3万人あったが、現在は2万人になっている。市役所の仕事や職員数は増えているのか。文化会館と類似の施設として演劇工場、ふれあいセンターがあるが、文化会館の機能は必要か。</p> <p>○事業費の58億円を30年で返すと1年あたり2億円程度、人口2万人だと、1人あたり年間1万円の負担になる。面積や事業費は、人口が減少しないことが前提になるのか。30年後の人口は何人を想定しているのか。</p> <p>○ハザードマップでは、現在位置は水害時に浸水することになる。今年、岡山県の災害で市役所が浸水し、市役所の機能が麻痺した。水に浸かることが分かっている場所で建替えるのか。別の場所に建てることや、既存の建物を利用するなどして防災拠点をつくるのか。例えば、山部の支所を活用するなど。そうしたことは検討しているのか。</p> <p>○人材開発センターの利活用のほか、信金富良野支店にも空きスペースがあると聞いた。そういう場所の選択肢はないのか。</p>	<p>○仮に2億3千万円の借金返済だとすると、約6千万円は国から交付税措置がありますので、毎年1億7千万円の返済額になると試算しています。返済方法については、より良い条件を検討しているところです。</p> <p>○返済が終わる平成63年ごろの人口を見据えて検討しています。国の研究所の試算では、人口は1万6千人くらいとされています。仕事量は、40年前と比べると、国や道からの権限移譲により多くなっている状況です。今後も権限移譲により、業務量や役割は増えていくことが想定されます。なお、職員数は、OA化の進展などで減少しています。</p> <p>○文化会館の貸館機能は複合させていただきたいと思っておりますが、ふれあいセンターとの役割は、どのような形が良いのかを検討しているところです。建設の現在位置は、100年に一度の洪水時に0.5～1mの浸水が想定されていますが、駐車場のスペース確保も考慮して、建設コストを抑えるために現在の場所としました。浸水を想定して、洪水時に庁舎機能を維持させるため、嵩上げも考えています。また、電気設備やボイラー設備等を高層階に設置したり、外部電源の確保による、市役所の業務が停止することのないような防災の拠点づくりをしていきたいと考えています。事業費や返済額については、公債比率をみながら健全な財政に努めていきたいと思っております。</p> <p>○人材開発センターの用地も検討しましたが、人</p>

	<p>の流れ等を考えて、現在位置を選定しました。信金は駐車スペース等の確保が難しいと思われます。</p> <p>○新庁舎の防災機能については、各地域からも質問がでています。現在の位置で本当に機能しなくなった場合どうするのかということで、サーバー等は他の場所に設置することや、山部支所への防災機能の準備なども検討しているところです。防災については、いろいろな意見をいただいていますので、いろいろな角度から検討しています。</p>
--	---

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見等
30-39 歳	男性	・新庁舎は安全面を考えても良いとは思いますが、市民も誇りに思えるような素敵な庁舎にしてもらいたい。

**⑭布礼別集落センター (11月6日 27名参加)**

(アンケート自由記載)

年齢区分	性別	ご意見等
60-69 歳	男性	・新庁舎については必要なものなので進めてほしい。

**⑮鳥沼会館 (11月7日 38名参加)**

ご意見等	市の回答・対応方針
<p>○国立人口問題研究所で発表している将来の人口推計では、30年後には1万4千人から1万6千人。人口が減ると地方交付税が減ることで、財政規模も縮小する。借金を毎年1億7千万円返すのは、固定経費で変動しない。そうしたことを想定した収支のシミュレーションをしてほしい。建設場所は、ほかに選択肢はないのか、1,000年の1度の大雨のときに水没する、災害拠点としてあの場所で良いのか、場所や代替案をいろいろな角度から検討してほしい。補助金の関係で拙速に進めたいのはわかるが、住民の理解を得ることを大事にしてほしい。回答は不要。</p> <p>○市の新庁舎や鉄道はいろいろな考え方があるが、次の世代の人たちが最低限困らないような方向で、全てのことがありきではなく、次の世代につなぐという意識で考えてほしい。どの答えでも満足のいくものではなく、どこまで妥協できるのかだと思う。</p> <p>○新庁舎建設は、歳入予算が減ることにポイントがある。人口が減っていき、次の世代にかかる負担の割合が大きくなる。それが30年間続くとなると、次の世代は稼いでも自分が潤わないようなことにならないか。新庁舎建設にあたり、</p>	<p>○国の補助を探すことも歳入を増やすことになり。担当部署が補助事業を探し、歳入を確保しながら事業を実施することで、一般財源を節約することを行っています。企業会計では、ワイン事業と水道事業がありますが、ワインは植栽</p>

寄付を募ってはどうか。自治体ではあるが、自分たちで収入を生むような、企業的な自治体になっていかなければ次の新しいものが見えてこない。そうしたことも考えてほしい。

を早くできません。水道は給水範囲を広げるためには設備投資が必要になります。現在のところ特効薬として歳入を増やすのは難しいと思っています。